

# 競技運営に関する規則

平成29年度より実施する

1. 主将会議には、監督又は主将が必ず出席し、会議で説明又は決定した事項は、チーム全員に徹底させること。
2. 使用球は当連盟の指定する公認球とする。
  - ① 使用球は連盟持ちとする。
  - ② ファウルボールは、直ちに近い方のチームが取りに行くこと。
3. ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とし、攻守はジャンケンで決める。
4. 球場内での〔フリーバッティング〕は認めない。〔トスバッティング〕は、試合中のプレイの妨げにならないところで行うこと。
5. 試合を行うチームは、試合開始予定時刻の**30分前迄**に、大会本部に届け出て、所定のメンバー表を**試合開始前**に球審に提出すること。記入なき選手は試合に参加出来ない。(当日参加した選手のみ記入)  
背番号は必ず記載すること。
6. 試合開始予定時刻になっても、試合場に来ないチームは、原則として棄権として取り扱う。
7. 球場内と外とを問わずマナーに留意し、試合中は特に言動を慎むこと。ベンチのヤジには、特に注意すること。  
試合中、ダッグアウト(ベンチも含む)では、喫煙及びガム等を噛むことを禁止する。
8. ホームランを打った打者に対して、味方選手が三・本に並んで握手をしたり、抱き合ったりすることは望ましくないで行わない。
9. 連盟のアマチュア規定に触れることのないよう注意すること。
  - ① 左袖には都道府県名をつけ、他のものはつけてはならない。胸や右袖には社章・商章・クラブのマスコット等をつけるのは差し支えない。
  - ② ベンチに宣伝効果のある旗・ノボリ等を持ち込むことは認められない。
  - ③ 応援団の行う行為に対しても、そのチームの責任となることがあるので注意すること。
  - ④ 軟式野球チームとして、好ましくないチーム名を用いないこと。
  - ⑤ 斜めに付いているマークで、それが常識的でないものは認められない。
10. **背番号は、0番から99番迄とし、算用数字で必ず付けること。**
  - ① 監督は30番・主将は10番・コーチを置く場合は29・28番とし監督及びコーチは選手と兼任できる。
  - ② 背番号の規格は、最小限15.2センチ以上、最大限長さ21センチ、幅16センチ、太さ4センチ以内とする。
11. 背中に選手名を付ける場合は、全員が背番号の上にローマ字で、姓のみとする。但し、同姓の者がいる場合は、名の頭文字を入れてもよい。
12. 雨天の際の連絡について
  - ① 小雨の場合でも、球場使用可能な場合は試合を行う。
  - ② 雨天の際には、必ず電話連絡すること。但し、各チーム一名に限る(電話が混雑するため)
  - ③ 第一試合のチームについては、試合場に来て試合の有・無を確認のこと。
  - ④ 午前中の試合は、午前8時より試合の有・無を回答する。
  - ⑤ 午後からの試合は、午前10時より試合の有・無を回答する。

● 滝ガ原連盟事務所 TEL 042(691)3845
13. チーム登録については、記載事項に記載漏れのないようにすること。
  - ① **登録人数は、監督・主将各1名、コーチ2名以内を含め10名以上とする。**
  - ② 追加登録・抹消・背番号変更は、所定の申告票で必ず届け出ること。届出は、滝ガ原連盟事務所にて指定の日曜日午前9時から午後3時迄。  
尚、雨天の場合は午前中迄とする。
  - ③ 追加登録・抹消・背番号変更の申告期限について
    - 春季大会・4月第1日曜日から4月最終日曜日迄の毎日曜日
    - 秋季大会・7月最終日曜日とその1週前の日曜日
    - 〃 ・8月最終日曜日とその1週前の日曜日何れも届出の翌週から出場出来る。
  - ④ **選手等の移籍は年度毎に可能とするが、その年度中は他のチームへの移籍は認められない。**
14. 不正登録選手出場の場合の措置
  - ① 試合中に発見された場合は、相手側に勝利を与える。
  - ② 試合終了後に発見された場合は、次の試合の相手に勝利を与える。
  - ③ 決勝戦終了後に発見された場合は、相手が優勝者となる。
  - ④ 不正出場チームに対する措置は、直ちに理事及びチーム側を含む5名以上が参画し、合議により相応の措置を行うこととする。
15. 公認野球規則に従い、審判員の下した如何なる判定に対しても、これに服従しない者及び大会秩序を乱し、その進行を妨げる行為をしたものが、そのチーム又は選手の関係者であっても、理事の合議により相応の措置をチームと選手に行う。
16. 放棄試合は、理由の如何を問わず許されない。